

原発性十二指腸癌術後の短期・長期成績に関する研究

1. 研究の対象

2012年1月以降、当院で原発性十二指腸癌に対し外科的手術を受けた方

2. 研究目的・方法

十二指腸癌に対しては、リンパ節郭清を伴う外科治療が根治的治療法とされていますが、腫瘍の位置や広がりによって術式は多岐にわたるため、合併症の発症もさまざまです。また、稀な疾患であるため、病理学的特徴と予後との関係も十分には解明されておらず、さらに術後補助化学療法の効果や再発後の治療方針も確立されていないため、至適治療方針の確立にいたっていないのが現状です。

本研究では、十二指腸癌外科的切除症例の臨床病理学的特徴と予後との関連を検証し、術式や補助化学療法を含めたより適切な十二指腸癌治療方針を検討することを目的としています。

3. 研究に用いる情報の種類

以下の情報を研究に使用します。これらはすべて通常の診療の範囲で得た情報です。

年齢、性別、身長、体重、既往歴、ASA-PS、フレイルスコア、癌の進行度診断・診断日・病期診断・治療開始日、手術前情報、手術施行時、周術期観察項目、長期予後等のデータ等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

済生会熊本病院 外科 新田 英利(研究責任者)

熊本市南区近見 5-3-1 TEL:096-351-8000

以上